

NPC 2023 Antibes 参加雑感

電力中央研究所 山崎 樂

NPC2023 が5年ぶりに開催されました(写真1)。開催地であるフランスのAntibes(アンティープ)は、地中海に面した観光地で、周辺地域のモナコ、ニース、カンヌと共に、多くの観光客で賑わっておりました(写真2)。

ウェルカムレセプションがありませんでしたので、月曜日の口頭発表から始まりました。開会式にて、Lister先生の訃報が伝えられました。ご発案の手法を用いた成果を報告しに来ておりました筆者としましては、ご挨拶叶わなかったことが残念でなりません。

筆者はポスター発表に参加し、昼食会場のすぐ隣で連日多数の参加者と活発な議論を交わしました。特に、昼食にワインが提供された日は、緊張感から開放され饒舌になれました。筆者はNPCへ初参加でしたが、日本の皆様に大変良く面倒をみていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

水曜には海岸でバンケットが開催され、夜風を感じながら各国の研究者と交流しました。終始和やかな雰囲気、研究のみならず、コロナ禍での生活の変化など各国の事情を伺い知ることができました。

以下は余談ですが、2023年の巷では生成AIが話題です。筆者は機械学習に携わっていることもあり、何とか現時点での性能を確認・体験しようと考えておりました。そこで、MicrosoftのBing AIに紹介してもらった店を訪れると、確かにリーズナブルな価格で食事を楽しむことができました。また、メニューは難解なフランス語が多かったですが、Googleレンズで即時翻訳することで、ストレスなく注文ができました。このように、AIを活用して快適な旅行が楽しめました。皆さんも進路に悩んだ際には、AIに相談してみてもいいのではないでしょうか。

以上



写真1 会場正面の横断幕



写真2 会場周辺の美しい海岸模様